

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	高齢者に対する同種造血幹細胞移植の移植前リスク評価方法の確立
	研究目的	同種造血幹細胞移植は、病気の治癒が望める一方で多くの合併症や移植に関連した死亡の克服が課題である。近年の高齢化社会によって高齢者に移植を選択する機会が増えているが、高齢者における適切な移植方法は定まっていない。そこで、当センターにおいて同種造血幹細胞移植を行った60歳以上の造血器腫瘍患者さんを対象とした観察研究を計画した。本研究では、60歳以上の患者さんの臨床的な特徴（移植前の臨床検査データなど）を解析することによって、移植後の重篤な合併症や移植に関連した死亡に影響するリスク因子を同定し、最終的に安全に移植を行うことができる患者さんの特徴を明らかにすることを目的とする。
	研究対象者	2010年1月から2020年3月に当センター血液腫瘍内科にて造血幹細胞移植の治療を受けた60歳以上の患者さん。
	研究期間	西暦 2020年10月19日～西暦 2021年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	宮崎拓也
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液腫瘍内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし